

緑友会コミュニケーション誌

FRIENDS OF GREEN

フレンズ オブ グリーン

1999年5月発行

No. 99

佐賀県鹿島市大字納富分2907-1
発行人 松浦 正秋 佐賀県印刷人若楠会
編集人 やまなし印刷若人会



第32回 全国印刷緑友会名古屋セミナー

第32回 全国印刷緑友会名古屋セミナー開催される

平成11年2月20日（土）に開催された第32回全国印刷緑友会名古屋セミナーは「セミナーらしいセミナー」をコンセプトに、テーマを「会社のソフトランディング」と題し、名古屋国際会議場レセプションホールで午後1時より行われた。

まず、式典は名古屋而立会田中尚行君の開会宣言に始まり、国歌斉唱をし、綱領唱和を緑友会常任幹事で秋田印刷緑友会の大門一平君を代表に参加者で唱和し、参加グループ、報道関係者の紹介の後、水谷元実行委員長あいさつ、松浦正欣緑友会会長のあいさつとつづき、愛知県印刷工業組合理事長代理の岩田宗雄様より来賓のごあいさつをいただき、最後に名古屋而立会の古田敦君の閉会宣言にて終了した。

ひきつづき1時30分よりセミナーが開かれ、第一部として内藤明亜先生が「倒産なんてこわくない」をテーマに、自分自身の倒産経験と倒産者のコンサルティング経験をもとにした講演を、第二部として横田濱夫先生が「銀行マンから見た融資のポイント」をテーマに



銀行マン時代の貴重な経験から得た金融機関の本音などを講演した。第三部はバトルトークディスカッションで、名古屋而立会の森川雅弘君をコーディネーターに内藤、横田の両先生が「ソフトランディングのためのハードな心構え」をテーマに、借りた側と貸した側、潰された側と見放した側のディスカッションが行なわれた。尚、このディスカッションの為に両先生がそれぞれ相手方の講演



内藤明亜氏

プロフィール

1946年東京生。高校卒業後、映画の道を目指したものの断念し、広告業界に入る。

1979年企画主導の制作会社を設立したが94年に倒産。以後、フリーとなり経営危機コンサルタントとして“倒産コンサルテーション”“会社再建コンサルテーション”を行っている。「倒産するとうなる」「7人の倒産社長に学べ」などを出版。

<http://www.infotrans.or.jp/nitemare/>



を一番後ろの席に座られ聞かれていた。

約3時間に及ぶセミナーも4時40分に終了し、会場内で記念写真を来賓、講師の両先生を交えて撮影し、そのまま別棟の会場へ移動して懇親会が開会された。

ここでは、松浦会長のあいさつで始まり、来賓あいさつの後、名古屋而立会の鬼頭則夫会長がお礼のあいさつがあり、長尾良宣直前会長のご

発声にて乾杯して1時間という短い懇親会が進められた。この短い時間の中でも各種行事のPRタイムがあり、次期総会開催の徳島一一会、全国大会開催の広島青年印刷研究会、40周年行事の茨城印刷緑友会、30周年行事の金沢青年印刷人クラブのPRがあり、最後に次期セミナーを開催の京都青年印刷人月曜会のPRの後セミナー旗の伝達をした。そして、最後に恒例となっている「靴が鳴る」の合唱にて第32回全国印刷緑友会名古屋セミナーがとどろきなく6時30分に終了した。その後、名古屋而立会のインフォメーションなどをたよりに名古屋の夜の街へ多くの参加者が繰り出して行ったのは言うまでもありません。



横田濱夫氏

プロフィール

1958年東京生。中央大学卒業後、81年横浜銀行に入行し一貫して法人融資を担当。

1992年在行中に「はみ出し銀行マンの勤番日記」(角川文庫)がベストセラーに。他に「はみ出し銀行マンのビッグバン日記」(東洋経済新報社)、「はみ出し銀行マンの倒産日記」、「はみ出し銀行マンの悪徳日記」など多数出版。

第32回 全国印刷緑友会名古屋セミナーを終えて

実行委員長 水谷 元

第32回全国印刷緑友会名古屋セミナーに際しましては、大変お忙しい中全国各地より予想をはるかに上回る多数のご参加をいただき誠にありがとうございました。

今回の名古屋セミナーを開催するにあたり、どうしてよいのか解らず、まず名古屋而立会OBの西川誠也先輩に相談を持ちかけたところ「自分達のしたい事、聞きたい内容で形にとらわれないで・・・」というアドバイスをいただき、会議を重ねた結果、とにかく「セミナーらしいセミナー」にしよう決め、セミナーだから勉強をする場なのだから少しでも多くの方に参加していただきやすい登録料の設定で、きちんと勉強をしていただける環境を整えようというところから始まったのです。

まずセミナーらしいセミナーの内容を決めるのに講師が先かテーマが先かでいろいろ出し合った末、やはりテーマを決め、それに従って講師を決めていこうということになったのですが、この頃、名古屋のこの業界でも不況のドン底であちらこちらで、どこどこが危ないらしいとか、あそこが廃業するらしいとかいうような話がよくあり、みな顔を合わせると最近どう？忙しい？ダメだねーなどという会話がかわさっていて、どうせなら自分が危なくなった時に役立つ様な事を勉強出来たらいいんじゃないかとなり、テーマを「会社のソフトランディング」と決定いたしました。ただこの時、約1年後の開催のときに、このテーマが意味を持たないような経済状況になっていて、セミナーが失敗だったと笑って言えるようになっていけば・・・などという不謹慎な言葉も出ていましたが。

テーマが決まり後は講師の選定でしたが、これは意外にもスムーズで、横田先生はメンバーに愛読者がいて講演依頼はすぐにOK。内



藤先生はある雑誌に掲載されていた記事を見てテーマにぴったりとなり、連絡を取ったら快く了承していただき、すぐに決定。しかし、ただお二人の話しを聞くだけではなく、3講目で何か出来ないものかと、各々の先生方と打ち合わせをしていたところ、何と面識があるどころか週刊誌で対談をしていた事が判明し、ディスカッションをしていただくことに即決定。

想像以上に事がうまく運び、後は堅苦しいセミナーにいかに参加をしていただけるかでしたが、名古屋という土地柄を考慮して、日帰りの方は、最後まで参加していただいても帰れる様に、一泊の方は名古屋の夜を楽しんでいただけるように、懇親会はあっさりとお済まして、参加された方をあまり拘束しないようにと思い終了時間を早く設定いたしました。

名古屋セミナーにご参加いただきました皆様方に勉強をしていただけるよう名古屋而立会会員一同力を合せて準備してお迎えさせていただきましたが、無事に名古屋セミナーを終了することができましたことを心より感謝申し上げます。

最後にこのセミナーの開催にあたり多大なるご支援ご協力を賜りました皆様方に深く感謝申し上げますとともに、次回セミナー開催地の京都青年印刷人月曜会の皆様のご成功をお祈り申し上げます。

セミナーらしいセミナーを

名古屋而立会 会長 鬼頭則夫

第32回全国印刷緑友会名古屋セミナーには、280人ものご登録を頂き誠にありがとうございました。皆様の暖かい友情に感謝しております。

今回のセミナーを企画するのに当たって“セミナーらしいセミナーをやるよ”ということで、幾つかのコンセプトを考えました。

第一に講師は誰も聞いたこと見たことのない人。第二にロケーションとビジュアルにこだわる。第三に登録料をいかに安くするか。第四にテーマは“ソフトランディング”。この四つを実行委員長の水谷君にぶつけて“お願いね”と頼んでハイお終い。と言うわけにはいかず、それから会議会議の連続で、どうやってこれを実行していくか皆で知恵を出し合いました。

特に講師選びにはなかなかいい案が出なくて困ってた矢先、副会長の田中君が“僕の愛読書”と言って持ってきた本が横田先生の本。

“これいいネ、これに決定！！。”

“オーイ、横田先生にはどうやって連絡とるの。”



“出版社に電話しちゃえ！”

“もう一人どうする。”

“雑誌もってこい。”

“おもしろい人いないかなア。”

“アっ！これおもしろそう”

“なになに、うまい倒産の仕方”

“ちょっと過激じゃない”

“いいんじゃない”

“おもしろそうジャン！”って決まったのが内藤先生。

“ついでだから対談してもらおうヨ・・・。”

講師が決まると後は堰を切ったように、あれしようよ、これしようよ。

こんな風に決まっていた而立会のセミナーにお楽しみいただけただけでしょうか。いろいろな試みをしたつもりですが、至らぬ事も多々あったと思います。緑友の友情にてお許してください。

次回開催地の京都青年印刷人月曜会の皆様のご成功をお祈りして、お礼のご挨拶と替えさせていただきます。ありがとうございました。

第32回 全国印刷緑友会名古屋セミナー 参加者コメント

茨城印刷緑友会 江幡 修

平成11年2月20日、茨城印刷緑友会からは、8名の参加者でいざ名古屋へと多くの勉強心と、少しのストレスの解消にと出陣いたしました。

名古屋へは、二度目の訪問なのですが街の大きさに驚嘆させられました。地域がらなのでしょうがあらゆる建物がでかい。その中でも、名古屋国際会議場は一際目立っていました。そこでセミナーが行われるとは、名古屋而立会の底力をみせられました。

さて本題のセミナーの内容ですが、内藤明亜先生の「倒産なんてこわくない」と演題からして何か起こりそうでしたが先生自身は、とても物腰静かに淡々と講演を進めていきました。倒産したときの借金の金額や具体的な話がきけてさらなる危機感を持たされました。

横田 濱夫先生は、元横浜銀行の営業マンで、法人融資を担当されてたようでとても現役の銀行マンからは、耳にできないような暴露話を聞くことができました。私の銀行への信用が多少揺らいだのはいうまでもありません。御二人の先生の講演後にパネ



内藤先生

ルディスカッションならぬバトルトークディスカッションが行われ名古屋而立会のメンバーの司会のもと先生のトークが始まりました。なかでも印象的だったのが「銀行の営業マンは、悪いことばかりしているんだ」と言った横田先生です。「ヤバくなったら銀行がどこへでも逃がしてくれる二年ごとの転勤はその為にあるんだ！」これには心底驚き、そして話の面白さに笑われました。そんなこんなでセミナーも無事にエンディングを迎え懇親会へと移ってまいりました。

松浦会長の挨拶から始まり靴が鳴るまでほかのグループの方々とも懇親を深められ有意義な時間を過ごせました。

さて、夜の部になると先ほどのセミナーでは、少しばかりこっくりをしていた私ですが名古屋の街の明かりの中へ息たからかに消えていくのでした。それにしても名古屋の女性はみんな美人ですね。やはり川島なおみの出身地だけあると思いますよ。ブスなんか一人もいなかったようです。茨城のメンバーも日頃の肩の荷をおろして童心に返ったということの後日聞きました。やっぱり名古屋の夜はいいですね。とても思い出に残りました。是非、今度名古屋にきたらまた酒を酌み交わしたいですね。鹿児島荒崎さん、岐阜の田中君。

最後に、大成功に終わった名古屋セミナーをセッティングしてくれた名古屋の皆さんに敬意を表します。本当に、色々とお世話になりました。

やまなし印刷若人会 飯島 功

去る2月20日開催されました。名古屋セミナーに初めて参加させていただきました。

私の会社は、名前の通り事務機の販売を行っております。主に、印刷業界の皆様の中では、様々な認識もあるようですが、理想科学工業(株)製のグラフを販売しております。

そもそも今回私が、このセミナーに参加させて戴いたのも、私がりソグラフの営業を行って行く中で、印刷業のある社長さんから山梨には、若人会という会の存在を教えてもらった事が切っ掛けでありました。会の内容を伺いますと、毎月Windowsの勉強会を専門の講師を招いて開催しているとのこと、私自身りソグラフの販売はもとより、印刷業界の皆様に話を聞いてもらう前に業界の方々と共に勉強会参加させて戴ければ、よりの確な提案ができると思ったからであります。この様なことで会に入会の、申し入れをしたところ異業種ではありますが深いご理解の中入会させて戴くことになりまして、参加することができました。

若人会としては、バスを貸しきり泊2日で、当日はセミナー参加、2日目はブラザー印刷(株)様の見学と過密スケジュールでありました。当初、特に下調べもせずに参加したためセミナーを聞き進むに連れ勉強不足な自分を反省する事になりました。

講演をされました横田先生・内藤先生の話は、まさに時代を捉えた講演であり、業界を超えバブル以降、金融機関の貸渋りと

言われている時に、私自身の持ち合わせる少ない情報と比較しながら拝聴させて戴きました。

両先生の講演が机上の話ではないだけに、時間の経過が欲しい位でありました。活字は文化と言われるように、時代と共に変化して現在では、パソコンへと進んでいるように業界を問わずデジタル新時代化になって来ております。

緑友会は、日本全国のネットワーク連帯が時代を先取りして行く英知を磨く場であり、緑友の力であるのではと感じました。懇親会の席上、今開催に大変にご苦労されました事を伺いましたが、大成功誠に改めてとうございました。

また、岡崎市ブラザー印刷(株)の岡田専務には、貴重な時間をさいて戴き最先端のデジタルショプを拝見して戴き誠にありがとうございました。この2日間で学んだ事を、活かしていけるよう私自身努力して行きます。大変にありがとうございました。



横田先生

平成10年度 第4回グループ長・常任幹事会

日時 1999.2.21

9:00am ~ 12:00am

場所 名鉄グランドホテル

1. 開会（江馬氏）
2. 議長選出（長野青年印刷人緑友会竹内隆文氏）
3. 出席者の確認
4. 資料の確認
5. 議事録作成人指名（木下氏）
6. 会長挨拶（松浦氏）
7. 直前会長挨拶（長尾氏）
8. 報告事項

1 常任幹事からの報告 広報担当より

フレンズオブグリーンの原稿の依頼を受けた方は早めに原稿の提出をお願いしますと要望があった。（依田氏）

名簿担当より

11月20日各グループ長宛に名簿を発送しておりますので各グループで活用してほしいと報告があった。名簿代金の振込を早めにして下さい。今後の名簿登録については（緑友サーバー）データアップを白井氏にお願いしていると報告があった。（棚橋氏）

40周年記念誌担当より

進行状況並びに、緑友の資料が利根川さんの所にありますので一度見に来て欲しいと報告があった。（小倉氏）

2 グループ長からの報告

茨城印刷緑友会より7月10日（土）40周年記念式典開催のご案内があった。（吉田氏）



9. 審議事項

1 全国緑友会鹿児島大会決算報告書の件
参加人数：305名 別紙により、事業・会計報告があった。グループ長・常任幹事会で異義無く可決・承認された。（笹山氏）

2 徳島総会の件

別紙の通り説明があった。

主 催：全国印刷緑友会

主 管：徳島一国会

日 時：平成11年5月29日（土）

14:00開始 20:00終了

5月30日（日）

7:00開始 9:30終了

会 場：徳島プリンスホテル

（徳島市万代町3-5-1 TEL 088-624-1120）

登録者：120名+（徳島一国会10名）

合計130名（予定）

登録料：28,000円 同伴者20,000円

（宿泊・懇親会・朝食を含む）

登録料28,000円については内容を再審査してほしいと意見がでた。徳島一国会・松浦会長・常任幹事会で検討して行く。（執行部に一任）

パネルディスカッションについては、開催するかしないか賛否意見が出た。

開催については徳島一二会に一任。

当日の綱領唱和は金沢青年印刷人クラブ・常任の中村寿男氏にお願いする。(乾・吉田氏)

3 平成11年総会開催日程及び開催場所の件

平成11年度総会開催について、エントリーがあっているのが札幌青年印刷人の会。

大会・広島大会の次は長崎青年印刷人からエントリーがあっている。

総会及び大会について札幌青年印刷人の会、長崎青年印刷人の会両グループより正式な立候補の申込みがありました。両大会の開催地について可決・承認された。

4 次期会長推薦の件

松浦会長より次期会長の件で広島青年印刷研究会、福田信彦君を次期会長に推薦したと上程されました。総会において推薦しますと提案がありました。

次期会長には、広島青年印刷研究会・福田信彦君をグループ長・常任幹事会で上程どおり可決・承認された。

10. 協議事項

1 次期常任幹事会開催日及び開催場所の件

日 時：4月17日(土) 18日(日)

場 所：佐賀県嬉野温泉でと提案がありました。日時・開催場所について了承された。

11. その他

40周年記念誌については小倉さんから報告事項通り。



東京大会での40周年記念誌の件で質問があり記念誌については5月の総会まで完成させると常任の山田氏から報告があった。

12. 審議協会事項の確認

審議事項の1～4項までその場で報告した。(木下)

13. 前回議事録の確認

第3回グループ長・常任幹事会での審議・協議会その他についての議事録について了承された。(木下)

14. 講評(会計審査・伊東氏)

15. 閉会

以上で議事を修了(12:00に閉会した)

解散(拍手)

A Relay Essay

やまなし印刷若人会

小林 隆広

(デジタルクリエイター?)

最近立て続けにiMacとG3を買ってしまった。
iMacはほとんど衝動買い。

G3もまあ似たようなもんですけど・・・

僕はコンピュータが嫌いです。いや、多分嫌いだろうと思う。8年位前にリコーのマイツールなるパソコンを購入したが2週間でカバーをかぶってしまった。ところが緑友山梨大会(96年)のテーマが「マルチな午後」と来たもんだ。

当時副幹事長だった僕は訳も分からずパフォーマ5220なる箱を買わされていたのでした。当時我が家にはテレビが一台しかなく、とつても不便だったので、「パフォーマはテレビが見れる!!」と言う誘惑に負けたに違いない・・・。今考えれば単純にテレビを買った方が安かったのに・・・我が家にやって来たパフォーマ君は非常に気難しがり家さんで、毎日ストライキを起こしては慣れない御主人様を困らせてくれました。その度に後ろの電源スイッチに手が伸びたのは言うまでもありませんが・・・そんな僕も「デジタルの山梨」の一因、いえいえ一員として、Ying-net(印刷若人会のネットです)では隆坊'バー(今では店じまいさせられてしまいました)のマスターとして暗躍し、自分で作った拙いデータをアド井上(情推委の井上雅博君の会社だよ)にYing-netで送信して出力してもらったりと、まるでデジタル人間のような活躍の日々であったのです。そんなある時、パフォーマ君が非常に御機嫌ななめで強盗に拳銃を向けられた銀行の女子行員のように凍りつく毎日が始まったのです。

「どーしたんだい!!ヘイヘイ、ベイビー!!!」(RCサクセッション風に・・・)

その時初めて僕は知ったのでした。パソコン

にはハードディスクの容量と言うモノがあることを・・・。

そして、パフォーマ君のそれは500MBだと言うことを。(気がつけば残り9K!!だった)そんなパフォーマ君も隠居して子供の玩具に、と思ったがまだまだ隠居はさせません。稼いで(?)もらいまっせ!でも今、この原稿をiMac君(G3君はまだほとんど寝たままです)で書いています。「ごめん、パフォーマ君。でも君はずーと僕と一緒にだよ。」

君が家に来てくれたおかげで僕のMacライフ(と言える程のユーザーではないが)があるのだから。権威ある(?)このリレーエッセイにこんな下らない原稿を寄稿する僕も僕だが、依頼した名古屋・而立会のAさんもAさんだ。まあ、過ぎたことはしょうがない。

今回のリレーエッセイで僕が言いたかったことは「最初の一步を踏み出さなくては何も始まらない!」と言うことなんです。(本当か?)

新体制でスタートする「全国印刷緑友会」「やまなし印刷若人会」そして全国の「緑友の仲間」達、勇気をもっていままで出来なかった事、やらなければならない事の最初の一步を踏み出して下さい。(僕はもう幹事長も終わって気楽な隠居生活ですが・・・)

さて、いよいよワインも無くなったのでこの辺で終わりにしたいと思います。酔ってなければもっともーっと素晴らしい原稿が書けるんだけど今回はこの辺で勘弁してやるでえ~。(すみません、酔ってます。)

次のリレーエッセイは徳島一二会の小浜君です。きっと彼がこのコーナーの威厳を取り戻してくれることでしょう。

次号の担当は

小浜 信夫 氏 南海紙業社

〒779 4401 徳島県美馬郡半田町小野 251 2

TEL(0883)64 2005 FAX(0883)64 2888



第42回全国印刷緑友会徳島総会

開催日：平成11年5月29日(土)・30日(日)

会 場：徳島プリンスホテル

登録料：25,000円

主 管：徳島一代会



第42回全国印刷緑友会広島大会

開催日：平成11年8月21日(土)

会 場：広島プリンスホテル

登録料：

主 管：広島青年印刷研究会

第33回
全国印刷緑友会
京都セミナー

第33回全国印刷緑友会京都セミナー

開催日：平成 年 月 日()

会 場：

登録料：

主 管：京都青年印刷人月曜会